

# 事後評価 計画名称 37 安心して生き活きと住みつづけることができる五木の里づくり (五木村振興基盤整備計画)

【事業主体】

熊本県、五木村



## 計画の目標・計画期間

ダム建設事業に伴う移転などの影響もあり、急激な人口減少が見られる五木村の活性化に向け、村民が安全・安心な暮らしを続けられるとともに、村外からの来訪者との活発な交流による観光振興をも促す道づくりを進める。  
[平成24年度～平成28年度(5箇年)]

H24	H25	H26	H27	H28
37 安心して生き活きと住みつづけることができる五木の里づくり (五木村振興基盤整備計画)				

道路利用者

現道幅を“約2km”整備し、車両のスムーズな通行を確保

災害防除を“2工区”整備し、道路利用者の安全・安心の通行を確保

舗装補修を“約300m”整備し、道路利用者の安全・安心の通行を確保

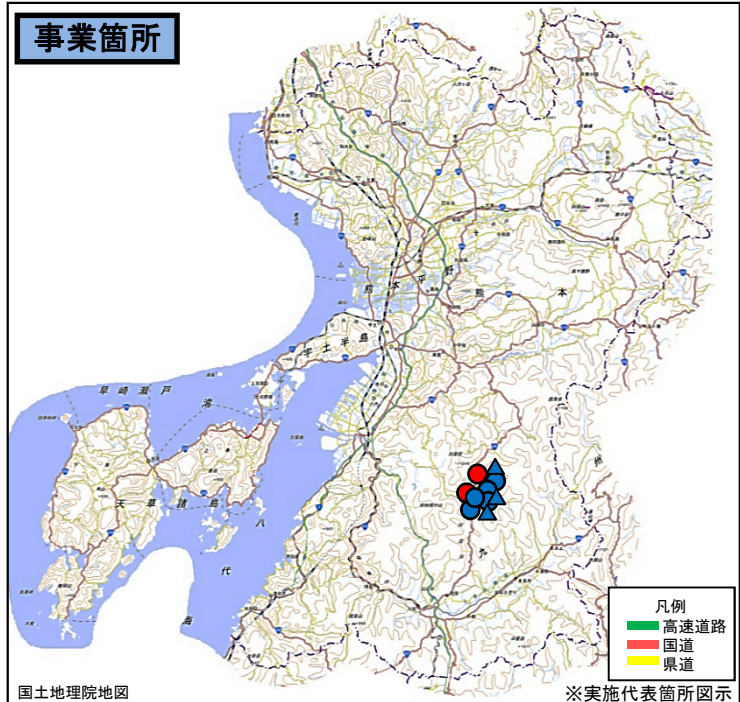
## 要素事業の進捗状況

事業区分	区分	工種	計画	実施	完了		備考
					完了	継続	
A: 基幹事業	県	道路改築	2	2	0	2	バイパス、現道幅
		道路改築	5	5	2	3	現道幅
	市町村	道路修繕	4	4	3	1	災害防除、橋梁補修等

単位: 箇所

## 目標達成状況

指標①	計画の成果目標	五木村内の道路交通網において、快適に走行できる道路の割合(快適道路率)を52.1%(H24)から55.0%(H28)に向上。		
	定義及び算定式	五木村内の道路交通網において、快適に走行できる道路の割合(快適道路率)を算出する。 道路快適率(%) = $\frac{\sum(\text{改良済延長})}{\sum(\text{整備区間延長})} \times 100$		
	達成状況	現道幅については、村道葛の八重線(葛の八重工区)ほか1箇所の整備を完了した。それに伴い、五木村内の道路交通網において、快適に走行できる道路の割合向上の目標を達成できた。	当初現況値(H24当初)	最終値(H28末)
		目標値	52.1%	55.0%
		実績値	-	57.1%
指標②	計画の成果目標	既存橋梁の長寿命化により安心して通行できる橋梁の割合(あんしん橋梁率)を0%(H24)から95%(H28)に改善。		
	定義及び算定式	橋梁長寿命化修繕計画において計画された橋梁数に対する整備済み橋梁数の割合を算出する。 あんしん橋梁率(%) = $\frac{\sum(\text{対策済橋梁数})}{\sum(\text{全要対策橋梁数})} \times 100$		
	達成状況	橋梁補修については、池鶴橋ほか1箇所の整備を完了したが、計画していた事業の進捗状況等により、既存橋梁の長寿命化により安心して通行できる橋梁の割合改善の目標を達成できなかった。	当初現況値(H24当初)	最終値(H28末)
		目標値	0%(0橋)	95%(19橋)
		実績値	-	10%(2橋)



## 今後の方針

バイパス事業の国道445号・泉～相良バイパスや現道幅事業の国道445号・泉～相良バイパス(宮園)等及び橋梁補修などの早期整備効果発現のため、H29年度より第2期整備計画にて鋭意整備を促進し早期完了に努める。